

## PRESS PACKAGE

2009年11月

ゼナローゼズ・ケニア有限会社 (Zena Roses Kenya Ltd.)

IFEX に初出展

<ぜひ知っておいてください>

私どもは： 輸出用バラの生産者です。

生産面積は： 40 ヘクタールを超えます。

所在地は： 東アフリカのケニアです。

生産は： スプレーローズ、ハイブリッドティーローズ、インターメディアイトローズ、  
スプレーカーネーション

ゼナローゼズは、2009年 IFEX に初出展します。9月にモスクワで、IFEX の担当の方とお会いした際に、日本市場に向けてのさらなるアプローチを行うのに、今がちょうど良いタイミングであることを確信いたしました。

そこからたった2ヶ月弱の準備期間、私どもの経営チームは、IFEX への出展をさらに価値あるものにするために案を練りました。

私どもは、日本市場との取引が全く初めてなわけではありません。過去に日本市場の可能性を調査したこともあります。そして、現在、中規模量の輸出を日本市場向けにおこなっているのです。

小さい一歩ではありますが、私どもにとって非常に重要な一歩です。これは私どものような生産者にとっての日本市場がいかに重要であることを示しています。私どもは、効率的なフィードバックのシステムを確立するために、生産者とバイヤーの直接のコミュニケーションを非常に大切だと位置づけています。このコミュニケーションが、現行の品種を改善し、新しい流行を取り入れることに繋がるのです。

私どもの製品は、香り、表情に様々なバラエティを持っています。古くから愛されているものもあれば、将来の流行を反映させて最近加わったものもあります。また、特定の市場で非常に高い評価を得ているものもあります。

日本市場は、その特徴のある好みから、世界中の生産者にとって、大きなチャレンジの市場です。私どもは、日本マーケットを理解するために努力しました。そして、将来に向けて、さらに理解を深めるために、来日しました。

私どもは、オープンマインドの精神で IFEX2009 に参加いたします。そして、メモを取り、バイヤー、ブリーダー、そして同業他社の皆様のアイデアを尊重いたします。それは、私どもの品揃えのためのビジョンを持つことに繋がるからです。ぜひ、私どものブースに足をお運びください。そして、私どものセレクションをご覧ください。

## 会社概要

ゼナローゼズは、1996年に設立されました。当初は、5ヘクタールの土地から始まり、二毛作を行っていました。現在では、2つの農園に、40ヘクタール以上もの生産エリアを保有しています。ティカにあるゼナ・ティカと、エルドレットにあるゼナ・ソシアニは、ナイロビのジョモ・ケニヤッタ国際空港からいずれも便利な場所です。また、どちらもほぼ赤道上に位置しており、一年を通じて、安定した生産のできる好ましい気候に恵まれています。これらは、アフリカの他の生産国と比べて、ケニアの非常にユニークな特徴です。

私どもゼナは、花生産においても顧客第一主義を取っています。何年にもわたり、私どもは計画をたて、各段階において品質および顧客サービスの向上を図る一方で、適切な生産拡大を行ってきました。私どもは、インターメディアイトローズ、ハイブリッドティローズ、スプレーカーネーション、そしてスプレーローズを栽培し、輸出しています。私どもの顧客は、英国、フランス、スイス、ドイツ、スウェーデン、アラブ首長国連邦、オランダ、ロシア、そして日本の9つの市場にまたがっています。私どもの生産する44の品種は、生産性、抵抗力、ケニアの気候への適合、そして最も大切な要素であるその美しさから選ばれました。私どもは、品種のバラエティを豊富に揃えておりますが、全てを完全に管理できる品種数に抑えています。詰め合わせを作るのに十分なバラエティを持ち、かつ顧客に向けて十分な量を提供できるように管理しているのです。私どもはいつも製品の側に立ち、お客様の声を聞き、それについて応対することができる謙虚な会社であり続けます。このシンプルな顧客第一の哲学が非常に大切であり、私どもは、設立当初からのお客様との強い関係を誇りに思い、同時に将来につながる新しいお客様と関係作りも誇りにしています。私どもの顧客リストは、私どもの品揃えリストと同じように重要であり、そのリストが何年にもわたり拡大していつていることも誇りです。この様な双方にとっての利益は、私どものビジネス戦略の中核部をなし、それは、今後もずっと続くものです。

## ケニアハイランドバラ

### 新しい流行

アフリカ、特にケニアハイランドバラには、近年、特に話題にあがることの多い品種です。市場のこのセクターは、南アメリカの生産者の独占的なテリトリーでした。そのため、ケニアハイランドバラは、端的に表すと「成り上がり」として、扱われていました。何年にも渡り、東アフリカのプロデューサー達は、オークションのための中間の製品か、英国のスーパーマーケットセクター用のマスマーケット向けの製品を生産してきました。ケニアハイランドバラは、ハイブリッドであり、世界中の様々な特徴が混ぜ合わされています。伝統的なハイランドバラの特徴である大きな花と、東アフリカの園芸の生産レベルとを合わせ合わせて作られています。5年ほど前には、ハイランドバラは、ほとんど市場に出ることはありませんでした。ところが、ハイランドバラの市場は急激な成長を遂げ、今ではケニアのトップ生産者の中には、ハイランドバラが主な収入源となっているところもあるほどです。いくつかの品種は、ケニアハイランドバラの中でも非常に成功しており、バイヤーとブリーダーは、アフリカにおける争奪戦を繰り広げています。ケニアハイランドバラは、世界中のそれに似た種類と比べても利点があります。いくつかの生産エリアで見られる、木質の茎やもろい茎の特徴は見られません。どの花も十分に開花し、家の花瓶に入れても、ライフサイクルによる色の変化が楽しめます。ぜひ、ケニアハイランドバラで、魔法を経験してみてください。ケニアハイランドバラは、オレンジ色の細い縁取りの入った深紅のつぼみからはじまります。そして、花瓶での時間が経つれて、だんだんとキャンディレッドに縁取りされたサンバーストに変化していきます。これを見れば、ケニアハイランドローズが、世界中のプロデューサーの間で固有種として分類されている理由がわかるはずです。

ケニアの他の業者と同様に、ゼナローゼズも展示会での経験が多くありません。設立当初は、直接の顧客販売のみに注力してきたからです。

2008年、私どもはモスクワで、ヨーロッパ以外の博覧会に初めて出席しました。私どもは、その場で寄せられたたくさんの引き合いに驚き、“2009モスクワフラワーショー”に出展することを決意しました。

2009年9月3日、3日間に渡り様々なイベントが催される“2009モスクワフラワーショー”に私どもの花を展示することができました。

このモスクワでのショーにおいて、私どもは、花生産者の「切花」のカテゴリーにおいて、銀メダルを獲得しました。これは、私どもの成功を意味していると考えます。また、私どもは、アフリカの花生産者の中でも最高のランクを得ました。これは、花を上部に保ち直射日光に当てるといふ私どもの信念に与えられた小さな奇跡です。さらに、このショーで、IFEX Japanの担当の方とお会いし、東京での展示会に申し込むことを決意しました。

2ヶ月の短い期間に、緊張と期待に胸をふくらませて、2つ目の展示会に出展することとなったのです。

私どもは、新しい品種をこの展示会にお持ちしました。これらは、まだ試作の段階にあり、市場の評価を測定したり、一般的な世論を集めたり、これらの品種の調査を行っています。

今日、世界中が陥っている経済状況については申し上げるまでもありません。過去三年間は、景気の後退が見られました。私どもゼナローゼズは、困難な市場に挑戦いたします。また、厳しいスターティングポイントを受け入れることが、将来の日本市場に強く進出する機会となり、将来的な景気回復とともに訪れる成長の機会のビジネスモデルになると信じています。

#### 復活種

ゼナの新しい品種は、復活種です。このバラは、すでに市場から注目されており、たくさんのお問い合わせが寄せられています。私どもは、現在、市場の需要に合わせるために、この復活種の生産量の増加を試みています。

復活種は、中心部がマゼンタ色に光り、花びらの先端に行くほどにベイビーピンクになっています。花のサイズは驚くほど大きく、完璧な円錐のスパイラルを形成しています。奇形はほぼなく、長くまっすぐな茎は、一輪挿しやブーケの中心にぴったりです。これらの特徴がこの復活種を、ウェディングブーケや、かすみ草やピンクのガーベラと一緒にシンプルな春のブーケにパーフェクトにしています。この復活種は、ゼラローゼズの試作として非常に高い評価をいただいたために、私どものプレミアム市場への新種として選ばれました。そして、私どものスタッフ、経営チーム、そしてもちろん顧客の皆様にも、人気の品種となっています。

来年の春も、私どもはこの復活種に大きな期待を寄せています。

ブース No. 16-16

商談ですか？

見学ですか？

ぜひ、私どものブースに足をお運びいただき、私どもに話しかけていただきたいと思います。ジェネラルマネージャーであるモハン・コウドヘリー (Mohan Choudhery)、そして、ディレクターのアーメッド・ンジィボ (Ahmed Nzibo) がブースでお待ちしております。私どものブースは、展示階ブース No. 16-16 に位置しています。

日本語での商談がご希望ですか？私どものブースでは、通訳を手配しております。もちろん、ブースにお越しになって、写真撮影をしていただくもの大歓迎です。最後になりますが、“IFEX2009” がお客様、そして全ての出展者にとって、実り多きものとなりますように！

#### 2009 年版カタログ

私どもの品揃えをご紹介するカタログは、デジタルでの配信をしております。過去に様々な展示会に参加し、印刷のカタログを集め、展示会の最後には驚くほどの重さになった経験があります。そのため、カタログをデジタル配信することにより、お客様に喜ばれるだけでなく、環境保全に繋がると考えるのです。どうしても、印刷のカタログが必要な方はお申し出ください。数に限りはありますが、若干用意させていただいております。

ゼナローゼズ

ZENA ROSES

連絡先

電話： +254 (0) 67 44004/10

+254 (0) 67 452593

FAX： +254 (0) 67 44005

住所： P.O. Box 2759 0100, Thika, Kenya

[info@zenaroses.com](mailto:info@zenaroses.com)